

埼玉透析医学会 会誌

Journal of the Saitama Society for Dialysis Therapy

Volume 8, Number 2

2019

特集

第48回 埼玉透析医学会 学術集会
プログラム・抄録集
第10回 埼玉アクセス研究会 PROCEEDINGS-2019



埼玉透析医学会
<http://www.ssdt.jp/>

埼玉透析医学会 会誌

Journal of the Saitama Society for Dialysis Therapy

Volume 8, Number 2

2019

特集

第48回 埼玉透析医学会 学術集会
プログラム・抄録集

第10回 埼玉アクセス研究会 PROCEEDINGS-2019

埼玉透析医学会

<http://www.ssdt.jp/>

INDEX

卷頭言 105

第48回埼玉透析医学会学術集会

プログラム・抄録集

会場案内図 109

参加者へのご案内とお願い 110

発表論文原稿執筆要項について 112

タイムテーブル 114

プログラム 115

抄録

特別講演 119

ランチョンセミナー 121

コーヒーブレイクセミナー 123

一般演題 125

協力企業一覧 133

第10回埼玉アクセス研究会 学術集会

PROCEEDINGS-2019

proceedings 目次 137

平成を振り返り、

令和の埼玉アクセス発進へ 139

エコーを用いた

バスキュラーアクセス管理 152

一般演題 161

学術集会開催記録 175

2019年施設名簿 176

埼玉透析医学会会則 178

索引 180

次回開催のご案内

第11回 埼玉アクセス研究会学術集会

会期：2020年8月30日(日)

※東京オリンピックの都合上、例年と開催時期が異なります。

会場：大宮ソニックシティホール 2F 小ホール

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7-5

TEL：048-647-4111

会長：中川 芳彦(関越病院)

演題登録方法：オンラインによる演題受付とします。

埼玉透析医学会 HP (<http://www.ssdt.jp/>) より、

「第11回埼玉アクセス研究会学術集会のお知らせ」のページを

ご覧ください。「演題登録・修正」から演題登録をしてください。

よろしくお願い致します。

募集期間：2020年4月1日～5月下旬頃

詳細は後日アップされる埼玉透析医学会 HP をご覧ください。

共催：埼玉透析医学会

事務局：埼玉医科大学総合医療センター 血液浄化センター

小川 智也

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981

TEL：049-228-3523

FAX：049-226-6822

E-mail：jinkojin@saitama-med.ac.jp

卷頭言

第48回埼玉透析医学会学術集会・総会に寄せて



埼玉透析医学会会長

松村 治

超大型の台風19号が東日本を中心に大きな爪痕を残して過ぎ去りました。改めて自然の脅威と共に文明に侵された人間のひ弱さを痛感しました。そうした中で開催されているラグビー・ワールドカップ日本大会では、日本チームの目覚しい活躍があり、Aグループ4戦全勝首位で決勝トーナメントに初めて進出するという快挙です。ラグビーはフィジカルの強さだけではなく、各ポジションの専門性が高く戦略性に富むスポーツですが、スーパープレイだけではなく15人が一体となって一つのボールをつなぎトライを目指す直向な姿が、大きな感動を呼び起こすと思います。また、人種を超えた多様性の尊重とノーサイドの精神も実に素晴らしいものです。こうしたラグビー精神が、実社会において発揮されたなら、ひ弱な人間の集団であっても素晴らしい成果が期待できると思います。

さて、令和新時代の明るいニュースとして透析患者のC型肝炎治療が挙げられます。2-3ヶ月の抗ウイルス薬内服でほぼ100%HCVが排除される成績が示されています。WHOが掲げる2030年肝炎撲滅宣言より早期にわが国の透析患者からHCV保有者がいなくなることが期待されます。今後も科学はさらに進化し、AIによる医療革新が起こるものと思われます。しかし、令和における直近の命題は、2025年問題として想定されている超高齢化社会の到来です。既に、人生100年時代と言われ90代の透析患者は、透析医学会の統計で2017年末6,674名、新規導入995名となっています。高齢透析患者は心疾患、脳血管障害、悪性腫瘍、認知症および骨粗鬆症・骨折の既往など多くの合併症を有することが多く予後不良と言わざるを得ません。来年3月末に透析医学会より公表される「透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」を注視すると共に、さらに議論を進めて高齢者の透析導入基準や透析療法ガイドラインなどの策定を期待します。

最後になりましたが、今回の大会長はさいたま赤十字病院の雨宮守正先生です。皆様ご存知のように埼玉県透析災害対策協議会の責任者としてもご活躍で、先生のご努力により埼玉県の災害時透析対策は着実に前進しています。令和元年の本学術集会が、参加者の活発なご討議により県内の透析医療の向上につながる実り多き会となることを祈念いたします。

2019年10月吉日

48th Annual Meeting of
Saitama Society for
Dialysis Therapy

Abstract
2019

第48回埼玉透析医学会学術集会

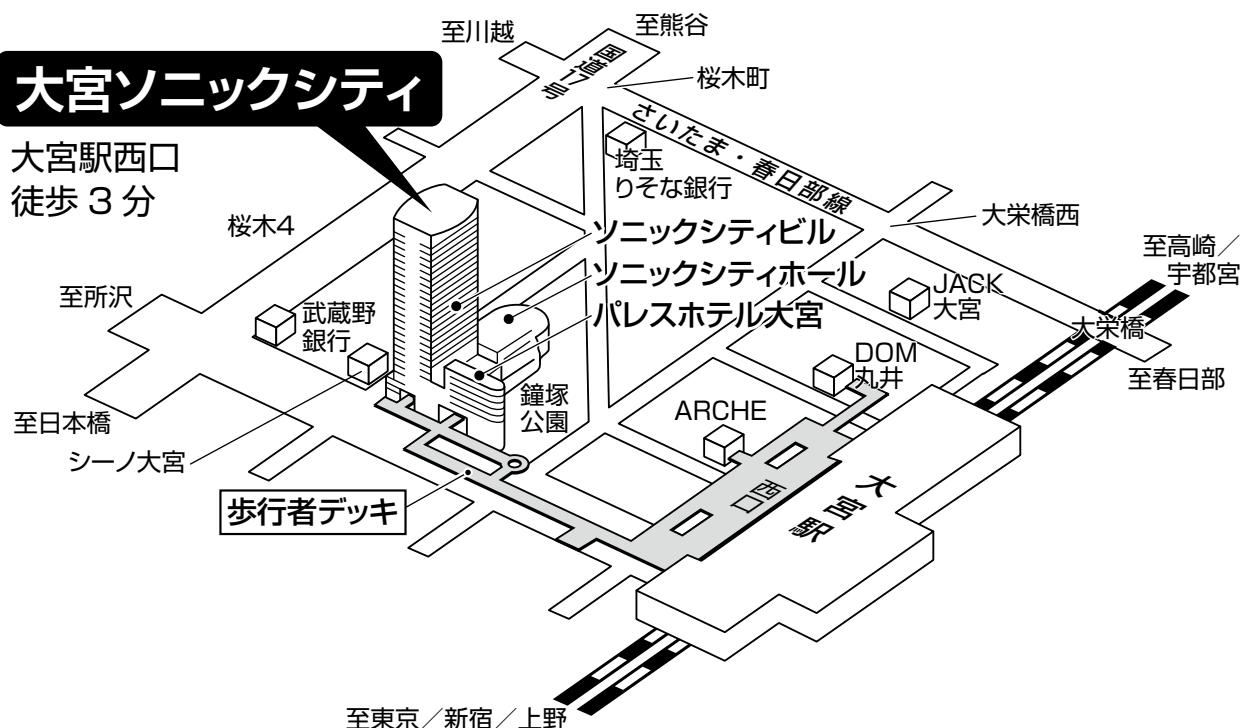
・大会長：雨宮 守正（さいたま赤十字病院）

・日 時：令和元年12月1日㈰ 10:00～

・会 場：大宮ソニックシティ 国際会議室（ホール棟4F）

事務局：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
埼玉医科大学病院 腎臓内科
TEL：049-276-1611／FAX：049-295-7338
URL：<http://www.ssdt.jp>
E-mail：jinnai@saitama-med.ac.jp

会場案内図

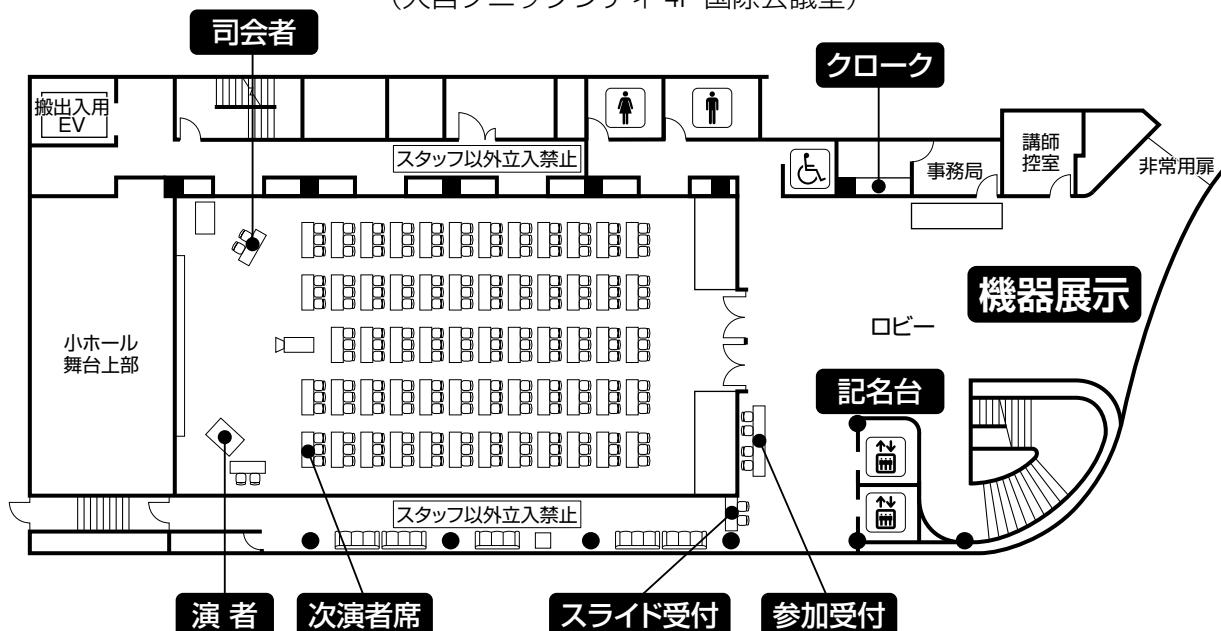


お問い合わせ

財団法人埼玉県産業文化センター（大宮ソニックシティ）
〒330-8669 さいたま市大宮区桜木町1丁目7番地5
ソニックシティビル5階 私書箱75号
TEL : 048-647-4111 TEL : 048-647-4159

会場見取図

(大宮ソニックシティ 4F 国際会議室)



参加者へのご案内とお願い

■ 参加者の皆様へ

1. 会期 令和元年12月1日（日）
2. 会場 大宮ソニックスティ ホール棟4階 国際会議室
(さいたま市大宮区桜木町1丁目7-5)
3. 参加受付時間 令和元年12月1日（日）9:30～16:30
4. 開演時間 10:00～17:00
5. 参加費 一般：1,000円 学生：無料(受付で学生書の提示をお願いします)。
6. 発言される際はマイクを使用し、最初に所属と氏名を明らかにして下さい。限られた時間内に討論ができるように、予めマイクの前にお並び下さい。
7. 携帯電話のご使用はロビーとし、会場内ではマナーモードの設定をお願いします。
8. クロークでは貴重品のお預かりはできませんのでご了承下さい。
9. 会場内の喫煙は禁止されておりますのでご了承下さい。
10. 一般演題の中から厳正な審査を行い、Best Presentation に対して表彰を行います。
11. 認定医制度による認定更新および新規申請希望者のための研修単位登録票学術集会参加(5単位)の発行を致します。参加証をご提示のうえ手続して下さい。
12. 慢性腎臓病療養指導看護師、透析技能検定の資格ポイント取得対象学会として認定されていますので、申請に使用される方は参加証明書を大切に保管して下さい。

■ 司会・座長の方へ

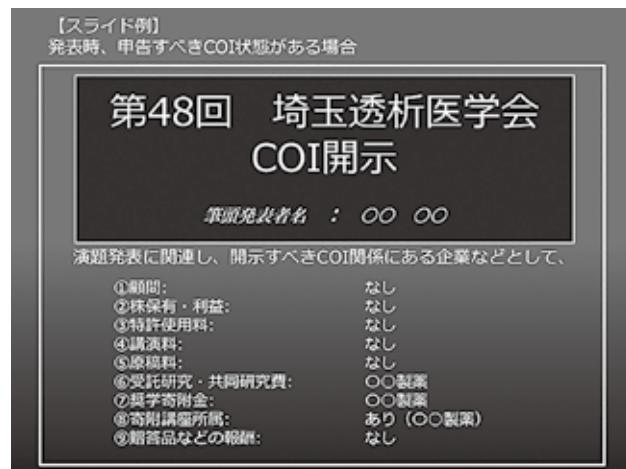
1. 開始予定時刻10分前にはご準備下さい。
2. 限られた時間内で発表が円滑に進むよう、質問・討論を希望される参加者がいる場合は、司会者が指名し質問・討論が速やかに行われるようご指示下さい。

■ 演者の方へ

1. 一般演題は発表7分、討論3分とさせていただきます。
2. 発表方法はデジタルプレゼンテーション(パソコン発表)のみとします。
3. 演者は発表時間の30分前までにスライド受付で必ず動作確認をおこなって下さい。
4. プrezentationはWin Power Pointでの作成に限らせていただきます。
5. 発表時間1時間前までにUSB等のメディアを持参し、PC受付でご確認下さい。

6. スライド進行はご自身で演台に設置してあるPCを操作の上、お願い致します。なお、スライドの枚数制限はありませんが、発表時間を厳守して下さい。
7. 当日の発表時に利益相反についての情報開示をお願いいたします。発表の最初か最後に利益相反自己申告に関するスライドを加えて下さい。後述する「利益相反自己申告に関するスライド例」を参考にして下さい。
8. 閉会挨拶時にBest Presentationの表彰を行いますので、ご参加をお願い致します。
9. 埼玉透析医学会会誌に掲載する発表論文原稿を令和2年1月31日(金)までにご提出下さい(詳細はお配りする「記録原稿執筆のお願い」をご参照下さい)。

「利益相反自己申告に関するスライド例」



発表論文原稿執筆要項について

本学術大会でご発表された内容は、埼玉透析医学会会誌（第9巻1号）掲載用の論文として収載して頂くことをお願いしております。下記の会誌投稿に関する内規に承諾していただき、発表スライドの当日受付で提出、もしくは令和2年1月31日（金）までに下記送付先まで E-mail または CD で提出をお願いいたします。

特別講演・ランチョン・コーヒーブレイクセミナー

ご発表頂いた講演について総説としてご執賜りたくお願いいたします。

ワークショップ・一般演題

ご発表頂いた演題について発表論文としてご投稿下さいますようお願いいたします。

会誌投稿に関する内規

埼玉透析医学会（以下「当会」という）は、「当会」が発刊する「会誌」への投稿に関し、以下のとおり定める。

1. 投稿の種類

「当会」が発刊する「会誌」への投稿は、①埼玉透析医学会および埼玉アクセス研究会の学術集会で発表されたものから、発表論文として論文集に掲載するために投稿するものと、②会誌編集委員会の企画により、投稿を依頼されたものとする。なお、論文は透析医療に関するもの、会員に対し有益な内容で、他誌に発表されていないもの（抄録を除く）あるいは投稿中でないものに限るものとする。また、個人情報保護の観点から容易に個人が特定されないように十分に配慮しなければならない。利益相反がある場合は記載すること。

2. 投稿資格

論文の筆頭著者は原則として「埼玉透析医学会の施設会員」とする。

3. 原稿の作成

- 1) 原則としてパーソナルコンピュータを使用し、文字のみの本文を Word または Text のファイル形式で作成する。
- 2) 文字数は図表を含めず総説は8,000程度、発表論文は4,000程度を目安に作成し、本文には頁をつける。
- 3) ①図表は Word、Excel、Power Point、JPEG、GIF で作成する（写真などは鮮明なものを使用する）。
②掲載は原則的に白黒印刷であるため、カラーで提出される場合は印刷時のコントラストに配慮する。
③図表は本文とは別のファイルを用意し、図表の下に番号を記し、本文中に挿入位置を明示する。
※他誌書から図表を転載利用する場合（自筆も同様）は、著作者ならびに出版元の許諾が必要となる。

- 4) 文献は主要なもののみ10点以内とし、文中の引用箇所に、半角上付で引用順に1), 2) 3~5) のように記載し、著者4名以上の場合は“…, 他”“…, et al”とする。
- ①雑誌の場合 著者名：論文名。雑誌名 卷：頁(初め-終わり), 西暦年
- ②書籍の場合 著者名：論文名。書籍名(編者名), 頁(初め-終わり), 出版社名, 所在地, 西暦年
- ③誌名を略記する場合 出版雑誌の定める略名を使用し、また外国のものはIndex Medicusの略称に準じる。
- ④「孫引き」を避け、必ず原典にさかのぼって出処を明示する。

4. 論文の体裁

表題頁、本文、文献、図表の順にまとめる。

- 1) 表題頁には①題名、②著者および共同著者(全員フリガナを明記)、③所属施設名、④連絡先(筆頭者の所属、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス)を記載する。
- 2) 本文はI. 緒言(はじめに、まえがき)、II. 研究方法(対象、症例、方法)、III. 研究結果(結果)、IV. 考察、V. 結論(結語、まとめ、おわりに)の順序で記述する。

5. 著作権

学会誌の掲載内容(インターネット上で公開する電子媒体を含む)の著作権は、「当会」が保有するものとする。また投稿者は、投稿内容が受理され学会誌に掲載された場合、学会誌掲載内容がインターネット上で公開されることについて了解しているものとし、これによる使用料は「当会」に帰属するものとする。

6. 校正

会誌編集委員の編集後、著者校正を依頼する。

7. 原稿締切

令和2年1月31日(金)必着とする。

8. 原稿の送付先

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

埼玉医科大学病院 腎臓内科内

埼玉透析医学会事務局 宛

TEL : 049-276-1611 FAX : 049-295-7338

URL : <http://www.ssdt.jp> E-mail : jinnai@saitama-med.ac.jp

※原則として送付いただいたメディアは返却いたしませんのでご了解ください。

2019年12月1日(日) 大宮ソニックシティ ホール棟4階 国際会議室

会 場		展 示	打合せ会場
国際会議室		国際会議室前ロビー	会議室501
9:00		9:00～ 設 営	
9:30	9:30～ 開 場		
10:00	10:00～10:10 開会挨拶		
10:10	10:10～10:50 一般演題1 座長：中川 芳彦（関越病院） 島崎 玲子（さいたま市民医療センター）	9:30 ↓ 15:30	
11:00	10:50～11:00 埼玉腎不全看護勉強会の報告 11:00～11:50 一般演題2 座長：熊谷 裕生（防衛医科大学校） 友利 浩司（埼玉医科大学）	企 業 展 示	10:50～ 11:50 埼玉県透析 災害対策 協議会
12:00	休 憩 12:00～13:00 (共催:ノーベルファーマ株式会社) ランチョンセミナー 末期腎不全における微量元素とその異常 司会：岡田 浩一（埼玉医科大学） 演者：脇野 修（慶應義塾大学 腎臓・内分泌・代謝内科）		11:50～ 12:50 埼玉透析 医学会 幹事会
13:00	13:00～13:30 埼玉透析医学会総会 議事進行：会長・松村 治（医療法人朋社会 南古谷クリニック） 事務局・岡田 浩一（埼玉医科大学）		
13:30	13:30～13:40 埼玉県透析災害対策協議会の報告		
13:40	13:40～14:40 特別講演 埼玉県における災害対策の取組 司会：雨宮 守正（さいたま赤十字病院） 演者：外園 孝之（埼玉県保健医療部医療整備課）		
14:00	休 憩		
15:00	14:50～15:20 コーヒーブレイクセミナー (共催:協和キリン株式会社) 透析医療現場とサイコネフロロジー 司会：大島 讓二（くぼじまクリニック） 演者：小川 智也（埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科）		
15:20	15:20～16:00 一般演題3 座長：鎌田 晋治（さいたま赤十字病院） 伊佐 慎太郎（埼玉医科大学病院）	15:30～ 撤 収	
16:00	16:00～16:10 閉会挨拶・BPA 表彰		

第48回埼玉透析医学会学術集会 プログラム

令和元年12月1日回
9時30分 開場 10時00分 開会

開会挨拶 10:00～10:10

会長：松村 治（医療法人朋社会 南古谷クリニック）
大会長：雨宮 守正（さいたま赤十字病院）

一般演題1 10:10～10:50

座長：中川 芳彦（関越病院）
島崎 玲子（さいたま市民医療センター）

O1-1 透析導入前のシャント造設時期に不安の聞き取り調査を行ってわかったこと

医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 斎藤 咲希 他

O1-2 スクロオキシ水酸化鉄チュアブル錠から顆粒分包へ切り替え時の服薬調査

医療法人慶寿会 さいたまつきの森クリニック 三枚橋 正子 他

O1-3 当院の災害対策の取り組み～アンケートから見えてきたこと～

医療法人さくら 北浦和腎クリニック 加藤 米子 他

O1-4 当院で行っている「検査カンファ・CTR カンファ」の意義

医療法人社団シャローム シャローム病院 今野 大輔 他

埼玉腎不全看護勉強会の報告 10:50～11:00

一般演題2 11:00～11:50

座長：熊谷 裕生（防衛医科大学校）
友利 浩司（埼玉医科大学）

O2-1 カフェイン中毒患者への血液透析が奏功した1例を経験して

医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院 藤本 政幸 他

O2-2 重症認知症患者を長期留置カテーテルにて外来透析導入した一例

埼玉医科大学総合医療センター 佐藤 紗映子 他

O2-3 透析時に経静脈的栄養療法を行うことで全身状態の改善を認めた
摂食障害(ED)患者の一例

埼玉医科大学総合医療センター 廣瀬 賢人 他

O2-4 肺胞出血と腎障害を伴った顕微鏡的多発血管炎(MPA)に対し、
ステロイドパルス療法・血漿交換・伏臥位療法で救命した一例

獨協医科大学埼玉医療センター 長堀 克弘 他

O2-5 間欠的血漿交換に不応な病勢に対し、持続的血漿交換を行い
一定の効果を認めた小児急性肝不全の一例

埼玉医科大学総合医療センター 小川 公己 他

休 憩 11:50～12:00

ランチョンセミナー 12:00～13:00

(共催: ノーベルファーマ株式会社)

司会: 岡田 浩一(埼玉医科大学)

末期腎不全における微量元素とその異常

脇野 修(慶應義塾大学 腎臓・内分泌・代謝内科)

埼玉透析医学会総会 13:00～13:30

議事進行: 会長・松村 治(医療法人朋社会 南古谷クリニック)
事務局・岡田 浩一(埼玉医科大学)

埼玉県透析災害対策協議会の報告 13:30～13:40

特別講演 13:40～14:40

司会: 雨宮 守正(さいたま赤十字病院)

埼玉県における災害対策の取組

外園 孝之(埼玉県保健医療部医療整備課)

休憩 14:40～14:50

コーヒーブレイクセミナー 14:50～15:20

(共催：協和キリン株式会社)

司会：大島 譲二(くぼじまクリニック)

透析医療現場とサイコネフロロジー

小川 智也(埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科)

一般演題3 15:20～16:00

座長：鎌田 晋治(さいたま赤十字病院)
伊佐 慎太郎(埼玉医科大学病院)

O3-1 前希釈オンライン HDF における ABH-26PA と NVF-26P の使用比較

医療法人社団愛友会 伊奈病院 佐々木 典子 他

O3-2 当院での外来維持透析患者を対象とした「ぼうさい研修会」の実施報告

医療法人健正会 須田医院 今井 丈友 他

O3-3 穿刺針の G 数が与える透析効率への影響

医療法人慶寿会 さいたまつきの森クリニック 中嶋 梢太郎 他

O3-4 クリーンサンプルポートの汚染対策の検討

さいたま赤十字病院 岡部 知徳 他

閉会挨拶・BPA 表彰 16:00～16:10

大会長：雨宮 守正(さいたま赤十字病院)

特 別 講 演

特別講演

埼玉県における災害対策の取組

○外園 孝之(ホカゾノ タカユキ)

埼玉県保健医療部医療整備課

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー

末期腎不全における微量元素とその異常

○脇野 修(ワキノ シュウ)

慶應義塾大学 腎臓・内分泌・代謝内科

コーヒーブレイクセミナー

コーヒーブレイクセミナー

透析医療現場とサイコネフロロジー

○小川 智也(オガワ トモナリ)

埼玉医科大学総合医療センター 脾・高血圧内科

埼玉透析医学会 会誌

発 行 日：2019年11月7日

発 行 行：埼玉透析医学会

発 行 人：松村 治

編 集：埼玉透析医学会 事務局

事 務 局：埼玉医科大学病院 腎臓内科

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

TEL：049-276-1611 FAX：049-295-7338

URL：<http://www.ssdt.jp/>

E-mail：jinnai@saitama-med.ac.jp

編集責任者：岡田 浩一

編集委員：小川 智也、金山 由紀、佐々木 裕介、伊佐 慎太郎、
村杉 浩

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

定価：2,000円+税